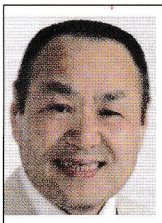


厚木基地爆音防止期成同盟　綾瀬支部長
第五次厚木基地爆音訴訟原告団　綾瀬支部長
広範な国民連合・神奈川　世話人
綾瀬市議会議員　こしかわ好昭

学校給食を無償に！
高齢者の移動支援強化！

住み良い綾瀬をつくる会ニュース

発行　２０２４年６月　綾瀬市寺尾台２丁目在住
ファックス　76-2128　携帯 090-4419-5091　Eメール　y-koshikawa@hotmail.co.jp
生活相談、労働相談はお気軽にどうぞ

フェイスブック、ホームページは、左の QR コードを読み取って入れます。
「厚木爆同」「第五次厚木基地爆音訴訟団」「広範な国民連合」で検索すると、それぞれの団体のホームページがご覧になれます。

７月７日は綾瀬市長選挙

- 市民の声を聞かない市政の大転換を！
- タウンヒルズを残す中心市街地再編を！
- 道の駅は、市民と各種団体との協働で！
- 学校給食を基に、市内農業の継続・発展を！
- 戦争の危険が高まる中、厚木基地の返還は早急の課題！　基地との交流は中止を！

綾瀬市はいま、東名高速綾瀬スマートインターチェンジの開通を生かしたまちづくりを進めていて、大きなプロジェクトが始まっています。

けれども、そのどのプロジェクトについても事前に市民の声を聞く機会を設けることはしないで、市と地権者の間で調整をして進めています。

今回の市長選挙では、市民生活に大きく影響する市の事業については、構想を立てる前に市民の声を聞いて、構想に生かす市長を選ぶことが重要です。

住環境を悪化させる早川城山の巨大倉庫は建設中

市民の声を聞かないで進めている巨大事業

【早川城山住宅に隣接して巨大物流センター建設】

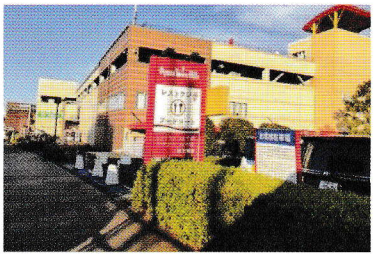
地権者と進出企業は大きな利益を得ることができますが、隣接する早川城山の住民は大型車などの通行で交通量が増大し、子供たちをはじめとした交通安全が心配です。

また巨大倉庫の出現で、それまでは富士山が一望できていたものが見えなくなるなど、景観も悪くなり住環境が悪化します。にもかかわらず、**住民に対して市からは「工業用地にする」という以上の説明はありませんでした。**

【あやせタウンヒルズの撤退】

中心市街地の再編ということで、旧消防庁舎跡地に食品スーパー「ヤオコー」と「ユニクロ」を誘致することと合わせて、タウンヒルズ跡地にホームセンター「カインズ」を、ビバホーム跡地に大型家電量販店「ケーズデンキ」を誘致するという市の構想の下で進められています。

「あやせタウンヒ



存続が望まれるタウンヒルズ

ルズの撤退」は、市民の買い物事情に大きく影響しますが、この市の構想については市民も市議会も、意見を言える機会はありませんでした。市と地権者と進出希望の業者との間で話が進められているというのが実情です。**12月議会では不了承になりましたが、「タウンヒルズを存続させるように見直しを求める陳情」が出ました。**

【道の駅】

現在、市長選に出馬を予定している人たちの間で意見が分かれていますが、市内の各団体や個人の協力が十分得られて地域振興の拠点になれるような様子がまだ、見えていません。「道の駅」ではなく、市民の憩いの場となる「まちの駅」にするという声が、市民の中から出ています。「道の駅」をどういったものにするのか、本当に役に立つものにできるかどうか、市としてもっともっと市民の声を聞いて進める必要があります。

もっと議論が必要な道の駅（予定地）

【あやせローズガーデン】

光綾公園のバラ園を改修して、多くの市内外の皆さんに来てもらおうというものです。当初は無料ということでしたが、維持経費がかさむということで、昨年３月議会で有料化が打ち出されて承認されたという経緯があります。

市が有料化の方針を固めたのは２０２２年の11月なのに、議会に説明されたのは２０２３年３月定例議会の直前。

市が大きな方針転換をする際には、議会には必要な時間を設けて提案することを求める声が議員からも上がっています。

議員からは、有料化に反対の意見が複数出ています。私も、有料化には反対です。

あやせローズガーデン有料化反対！

注目すべき市の施策に市民の声を！

綾瀬市では現在、小中学校の授業での利用も視野に入れた**市民プールの建設**、不登校対策を強化する**総合教育支援センターの建設、コミバス以外の交通手段も利用した交通利便性の向上の検討**など、注目すべき施策を進めています。

学校給食の半額補助は、国の補助金が出たために**来年３月まで延長**することにしました。けれども、それ以降は不明です。市の財政を使って市の責任で、学校給食の無償化をやるべきです。市民の皆さんの声を市に届けましょう。

在日米軍の外国攻撃を止められない「日米地位協定」

厚木基地はますます危険な存在に！
中国とは戦争するな！

４月１０日に行われた日米首脳会談は、「我が国を米戦略に縛り付けるもので、世界の趨勢に真っ向から反する、時代錯誤です。岸田首相は歴史に背を向け、**「米国とともに」と文字通り亡国の道を選択**しました。

現在の日米地位協定では、在日米軍が外国を攻撃することを止めることができません。在日米軍が交戦すると、日本が戦場になります。

中国の台頭を抑えたい米国の戦略に従った岸田政権で、日本がアメリカの先兵となって中国と戦争する危険が高まりました。厚木基地は、ますます危険な存在になっています。

「中国とは戦争をするな！　日中不再戦！」の声を大きく上げるときです。

６月８日（土）14時から戸塚区役所３階で「日米地位協定を考える学習講演会」を開催します。

オスプレイは飛ばすな！

昨年11月29日、米軍の輸送機オスプレイが屋久島沖で墜落し、乗員８名が死亡する大事故が起こりました。日本政府は事故原因の究明がなされないまま、米軍の飛行再開に合わせて３月８日、自衛隊のオスプレイの飛行停止解除を発表しました。

厚木基地爆音防止期成同盟など市民団体は３月19日、抗議と飛行停止を求めて、厚木基地司令官に要請書を手渡しました。